

刑事訴訟法等改悪案の衆院採決阻止！

運動つぶし法・えん罪拡大法・超監視社会化法 制定を許さない！

破防法・組対法に反対する共同行動事務局

■衆院法務委で審議本格化！ 採決阻止！ 冤罪促進と超監視社会化、警察・検察の焼け太りを狙う「刑事訴訟法等改悪案」の趣旨説明が5月19日に衆院本会議で強行され、26日から委員会審議、6月9日以降、可視化・盗聴・司法取引などの各論で論争が本格化しています。法務省・与党は審議を急いでいます。与党参考人が「違憲」表明する戦争法案の難航、年金情報漏洩による共通番号法6.4採決頓挫、民間秘密法の改悪不正競争防止法審議入りなど、何が起きるか分からない後半国会のなかで、「刑事訴訟法等改悪案」も6月中・下旬までに衆院通過をさせなければ黄信号がともるからです。盗聴法大改悪と司法取引（密告奨励）など刑事司法破壊の悪法制定を絶対に許すわけにはいきません。

■審議入りの中で、反対の声が急速に広まっています。3.20集会→4.22院内集会→5.26星陵会館集会や共同行動の連続した国会行動、5.9に続く6.4新宿大情宣、5.29日弁連定期総会情宣(パレスホテル)など、悪法廃案の声は国会内・外に染み透ってきています。

屈服した日弁連執行部の早期成立希望会長声明をはね返して、20を超える単位弁護士会が反対の声をあげ続けています。弁護士会をめぐる攻防は、3.13閣議決定時の18単位弁護士会反対共同声明⇒3.18日弁連会長の早期成立希望声明⇒4.22福岡弁護士会反対声明⇒5.1千葉弁護士会反対声明⇒5.13三重弁護士会反対声明⇒5.22日弁連会長成立希望声明⇒5.27京都弁護士会反対声明⇒6.3埼玉弁護士会反対決議と激しくなり、焦った日弁連執行部は破廉恥な声明を発するだけでなく、与野党議員回りで早期制定を請願するに至っています。

また、日本雑誌協会人権・言論特別委員会、日本書籍出版協会出版の自由と責任に関する委員会が「通信傍受法」の対象犯罪拡大に反対する声明を、5月19日に発しました。

■治安弾圧エスカレート・治安立法を共同してはね返そう！

治安立法策動の一方で、政府は新たな「サイバーセキュリティ戦略」案(5.25)に続いて「国際テロ対策要綱」(6.1)を公表し、16年伊勢志摩サミット警備本部発足、ドローン規制など治安弾圧・管理態勢を強化しています。5月下旬以降、経産省建造物侵入弾圧、京丹後Xバンドレーダー反対集会「白バス」弾圧(道路運送法)、携帯名義貸し借り弾圧、障害者共同作業所ガサ入れ(詐欺容疑)などが続いています。文字通り決戦の時です。全力を挙げて、改悪盗聴法・刑事司法破壊の「刑事訴訟法等改正案」を廃案に追い込む為に闘い抜きましょう。共に弾圧をはね返しましょう。安倍の暴走は、戦争と弾圧、改憲への道です。広く訴え、大衆運動の力で、何としても阻止しましょう。

悪法制定阻止！6～7月闘争へ全力でご参加ください。

- 6月9日(火)国会行動 8時30分～13時(12～13時 昼集会)衆院第2議員会館前
- 6月16日(火)院内集会 11時30分～13時30分 衆院第2議員会館に全力でご参加ください。
- 衆院法務委強行採決時には緊急行動を行います(8時30分～13時 昼集会)衆院第2議員会館前
- 傍聴のお願い(衆院：火・水・金)。希望者は前日までに事務局にご連絡ください。